

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市精神保健福祉審議会		
事務局 (担当課)		精神保健福祉課 電話042-769-9813 (直通)		
開催日時		令和8年2月5日(木) 10時から11時30分まで		
開催場所		ウェルネスさがみはらA館5階 会議室		
出席者	委員	11人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	9人(地域包括ケア推進部長、精神保健福祉課長、精神保健福祉センター所長 他6人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		議事 (1) 相模原市の精神保健福祉業務について (2) 指定病院等の指定について (3) 入院者訪問支援事業について		

議 事 の 要 旨

健康福祉局地域包括ケア推進部長あいさつ、委員紹介ののち、委員改選に伴う会長及び副会長の選任が行われ、委員の互選により、稲田会長及び鈴木副会長が選出された。

会長のあいさつに続いて、会長により議事を進行した。
主な内容は次のとおり。

1 議事

(1) 相模原市の精神保健福祉業務について

事務局より資料1に沿って説明を行った。

【意見等】

(金井委員) 措置入院者の退院後支援について伺いたい。措置入院は、おおよそ、基幹病院やその日の救急当番の病院で受けていると思う。このフローに従って、院内面接等、個別ケース検討会議がなされていく。入院中の病院ということはわかるが、どこでやっていくのか。基幹病院だとそれほど長い期間はなく、後方移送に依頼をかけて他の病院か精神科単科病院に転院をしていくことになると思うのだが、どのタイミングで、どういった流れか。

(事務局) 措置入院者の退院後支援について、後方移送後に転院した病院で面接をしている。やはり病状が落ち着かないと、なかなか本人から退院後の生活についてのイメージを聞き取っていくのが難しく、そういう形で行っている。

(金井委員) 病状が落ち着いてからということになると思うが、資料の最後のページにある措置入院者支援の支援対象者は令和7年度90名、支援申込者が51名という結果で、約半数の方が希望されているということではないかと思うが、申込者と計画作成済みの人数の齟齬は。

(事務局) 申し込みから計画を策定するまで、実際には一定の期間が生じる。例えば、後方移送後、1か月後ぐらいに面接を実施し、そこで退院時期に合わせて個別ケース検討会議を開催しているので、その時点で作成済み数になっている。実際には同意をいただいてから大体2～3か月くらいかかる場合があり、入院が長引くことで人数が異なってくる。

(坂本委員) 精神障害者の方のグループホームは今、現状として市内に何カ所くらいあるのか知りたい。公開の議論の中で、誰も傍聴者がいないというのは残念。多分私たちがいわゆる精神に課題を背負っている方達を「精神障害」と言っている間は誰もここに座ってくれないのではないか。これは本当はここに投げる話ではなく、日本中が考えなければならない言葉だと思うが、何か、素敵な捉え方やネーミング、こんな表現があるというのが、もし見つかったとしたらすごいなと評価されるんではないかと思う。

(事務局) 市内のグループホームの数であるが、後日会議の結果を送らせていただ

く際に、委員の方々にお知らせする。

(片岡委員) 入院形態だが、医療保護入院に自傷他害の恐れはないと書いてあるが、医療保護入院でも、他害の恐れがないということはない。相手に暴力をふるったりする場合も、医療保護入院をしなければいけないということで、自傷他害の恐れはないと断定するのがいかなものかと。

(会長) 医療保護入院、措置入院という言葉は、どちらかという精神保健福祉法で決まっていて、その文言をこちらにもってきているので法律ではこうなっています、というところだと思う。

(2) 指定病院等の指定について

事務局より資料2に基づき説明。

なお、公平性の観点から、委員のうち審議の対象となる病院の関係者については、その病院に係る審議の際は一時退出することとした。

【意見等】

(甲斐田委員) 資料2の1によると北里大学病院の現在の指定病床数が28。今回が10ということで、減っていることについては、どういう事情があって減っているのか。

(事務局) 北里大学病院開設前には、北里大学東病院が指定を受けていた。同院は精神科病床数は110床以上あり、ゆえに28を指定した。その後同病院が閉鎖されることに伴って、北里大学病院に精神科病院が統合され、精神科の方に異動したという形で精神科の総病床数が減っているが、その時に指定病床数28床で一時的に引き継いだ。以前の110床に対しての28床と比較し、現在の北里大学病院は42床ということから、指定病床数の方を変更したいという申し出があり、それを承った形で10床として諮問させてもらった。

会長から次のように答申することが発議され、出席委員全員により了承された。答申の内容は次のとおり。

「指定病院の指定の申請があった3病院について、指定病院として指定することが適当と認められる。指定病床数は申請病床数と同数とし、指定総病床数は60床とする。

応急入院指定病院の指定の申請があった1病院について、応急入院指定病院として指定することが適当と認められる。指定病床数は申請病床数と同数とし、指定総病床数は2床とする。

北里大学病院、相模病院及び相模ヶ丘病院を指定病院として指定する期間は、令和8年4月1日から令和11年3月31日までとする。

また、北里大学病院を応急入院指定病院として指定する期間は、令和8年4月1日から令和11年3月31日までとする。」

また、答申書の作成は会長と事務局に一任することとなった。

3. 入院者訪問支援事業について

事務局より資料3に基づき説明。

【意見等】

(坂本委員) 画期的な制度と思って見ている。今後入院した方が地域に戻って、どう生きていくかということは、見守り、応援していかなければいけない。13名の方が実務者として研修を受けて訓練を受けたというのは頼もしいと思うが、そういう対象者に向き合うことによって13名の方がそれぞれに大変な思いや不安、悩みが生じることが想定される。その点の手当を頑張ってやってほしいと思う。

(副会長) 確認をさせていただきたいが、実際13名が受講されているということだが、相模原市の中でピアサポーターとして活動をしている人はどのくらいいるかお伺いしたい。また会議体について精神保健福祉審議会が兼ねるということは異論はないが、当事者意見として、ご本人の意見集約をどのように考えているのかお伺いする。

(事務局) 入院者訪問支援事業の養成研修の修了者13名については、対人援助をしている職員とピアサポーターとして回答している方が受講されている。内訳はピアは9名。意見集約については、推進会議でなく実務者会議の中で行うことを想定している。さきほど、坂本委員からもあったようにフィードバックや振り返りをしながらフォローアップ体制をとっていきたいと考えている。実務者会議の中で得られた訪問支援員からの意見などを集約し、推進会議の方で報告させていただいたり、今後気を付けた方が良い点や意見などをいただき、再度、実務者会議へ返していくという形をとらせていただきたいと思います。

(副会長) 本来であれば当事者の方がこの審議会の中に入っていた方がいいのが理想ではあるが、体制としてまだ、ということであれば、いずれ入っていただきたいという要望をお伝えしたい。実務者会議の中で当事者の方の困りごととか、坂本委員が心配されているあたりの部分がフォローされるということであれば、特に推進会議の方に当事者が入っていてもカバーできるという認識をさせていただいた。

(金井委員) これから、相模原はスタートする、ということによろしいか。先日、私が所属している神奈川県精神保健福祉士協会で行っている協会員の実践を報告する会というのが行われ、この中で他の自治体で入院者訪問支援事業をやっている方から取り組みの報告がされたが、その中で、2枚目、事業概要についてであるが、訪問支援対象者が市内精神科病院入院者のうち、市町村長同意による医療保護入院者及び市が必要と認めたもので支援を希望する者というのが一応大きな枠組みとしてあるかと思う。

これに忠実に行った結果、市町村長同意の医療保護入院者で入院者訪問支援事業を受けてみたいという入院患者の数はほとんどいなかったそうである。

その枠組みを少し外して、市町村長の同意でなくても良いとか、医療保護入

院でなくても良いというように枠を外して、なおかつ1回に限るという条件もあったが、それを複数回受けても良いというように少し制限を緩めたところ、倍以上の相談が寄せられたというような結果の報告があった。

やはりこの対象をあまりに絞ってしまうと、せっかくのこの事業が活用されないというところがあると思うので、そこの辺りは受けていただく方も含めて一緒に考えていただきたいと思う。先ほど鈴木副会長も言っていたように、その報告の中でもピアサポーターの方の活躍がすごく取り上げられていた。入院中の患者に一番寄り添えると言ったら語弊があるかもしれないが、分かり合える理解者であるというように、入院中の患者も言っていたので、ピアの方の活躍を期待したいと思う。

(片岡委員) ページ4のところだが、市内精神科病院6病院に対して事業周知活動と明記してあるが、差し障りがなければこの6病院を教えていただきたい。

(事務局) 6病院は、北里大学病院、相模ヶ丘病院、相模病院、相模原南病院、相模湖病院、ふじの温泉病院である。

(会長) それでは推進会議については本審議会に設置とすることを承認いただいたということで、事務局では設置に向けた準備等進めていただくようお願いする。

(会長) 用意された議題と報告は以上になる。ここで各委員から情報提供や相模原市の精神保健福祉について一言申しておきたいということがあったらぜひお願いしたいと思う。私の立場からすると、世の中の精神医療福祉が随分変わってきているなというように感じており、その中でどんどん制度が変わっていく中についていくだけでも精一杯というところもあるが、それを先んじて知って、もう1歩先に進めていきたいと思っている。

市の皆様には、随分いろんなことをやっていただいております、全国的に見ればかなり進めているというように感じている。今後も協力していきたいと思っている。

(副会長) 多分、次回、入院者訪問支援事業の進捗や、全国的には精神障害に対応する地域包括ケアがいろいろな市町で工夫をされているという様々な報告が上がってきているので、そういう報告をいただいて、相模原独自の活動を広げていただければ良いと思う。

(金井委員) たくさん意見を言わせていただいたので、先ほどお話しした、やはりこの審議会に当事者の方が入ることを、できれば今後考えていけたらということで締めさせてもらう。

(山口委員) 入院経験がある者だが、今現在入院している人たちも、良い関係になるように期待したいと思う。

(片岡委員) 私は精神障害の家族会の一員だが、やはり病気を持った者を抱えていくということは本当に大変だと常々感じている。それでも家族会の者は皆、年老いてきているが、頑張っているから、また良い知恵があれば貸していただきたいと思う。

(佐藤委員) 私は地域でたまたま精神の方の作業所の立ち上げに関わって、初めてそ

ういうことの知識を得たが、本人も家族もその知識がないことで、悩まれたり、受け入れが難しかったり、周りの方もやはり知識が足りないことがすごく問題だと思う。やはり教育の中で小学校や中学校、そういうところでまずは基本的な知識と人権なども教えていただくというのが、一番効果があるのではないかと考えている。

(坂本委員) 去年の3月にゲートキーパー養成研修を鳥居原ふれあいの館でやっていただき、従業員を参加させて、先頭を走るぞと発破をかけている鳥居原ふれあいの館である。共生社会の推進サポーターにも登録しており、身近なところから一歩踏み出したところなので、応援してほしい。

(小笠原委員) この入院者訪問支援事業に対してだが、ピアサポーターとして活動されている方、力を持っている方がたくさんいるので、これからも、やはりもっとピアサポーターの力を活かせるような場が多くなれば良いと思う。

新しい事業を始めるので、そこで上がった入院患者さん一人ひとりの声を大事にしていけたら良いと思うし、せっかく事業を始めたのに、使う人がいないとなると、何のためにやっているのか分からないので、希望者が出るような事業の仕組み作りもしていけたらよい。

(杉立委員) すぺーす・あいのメンバーさん、ピアサポートのことを皆に話してくれると、私自身も同僚にも勉強になり、新しい支援に向かっているといつも感じているので、これからもピアサポーターがどんどん増えていけばよい。

(小林委員) 社協では、当事者の方が地域で安心して暮らせるようにしていくことが、取り組みとして重要だと思っている。日常生活支援事業ということで、身辺管理など、いろいろな居場所づくりや、またサロンとかボランティア活動などもやっており、そうしたところにも参加していくような取り組みをし、将来的に就労などに繋げていけたらよい。

(甲斐田委員) 弁護士の甲斐田です。どうしても弁護士の立場からするとこういった精神疾患の関連する医療保護入院であるとか、本人の意思に反して深刻な人権侵害と背中合わせというような視点から見ることが多いが、今回法改正に伴う、新たな制度など具体的に説明していただき、人権侵害などについて、克服していく具体的な動きがあることを知ることができた。会に出られて光栄に思っている。

以 上

相模原市精神保健福祉審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	稲田 健	北里大学医学部	会長	出席
2	鈴木 剛	田園調布学園大学	副会長	出席
3	甲斐田 沙織	神奈川県弁護士会		出席
4	住吉 秋次	相模原市医師会		欠席
5	増田 直樹	神奈川県精神科病院協会		欠席
6	小林 輝明	相模原市社会福祉協議会		出席
7	恒藤 玲子	相模原ボランティア協会		欠席
8	杉立 あくね	相模原市障害者地域作業所等連絡協議会		出席
9	小笠原 志穂	相模原市障害者地域作業所等連絡協議会		出席
10	金井 緑	神奈川県精神保健福祉士協会		出席
11	山口 由美子	相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
12	片岡 加代子	相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
13	田中 秀泰	相模原ダルク		欠席
14	佐藤 優子	公募		出席
15	坂本 勝津雄	公募		出席